

平成 30 年度共同利用研究・研究成果報告書

研究課題名	和文：CRC 宇宙線将来計画研究会 英文：CRC workshop for future plans in cosmic ray research
研究代表者	西嶋恭司（東海大理）
参加研究者	荻尾彰一，神田展行，常定芳基（大阪市大理）， 中畑雅行，手嶋政廣，さこ隆志，吉越貴紀（東大宇宙線研）， 伊藤好孝（名大理）， 宗像一起（信州大理）， 井上邦雄（東北大ニュートリノ）， 窪秀利（京大理）， 日比野欣也（神奈川大工）， 他 CRC 会員及び関連分野研究者
研究成果概要	<p>宇宙線研究分野の将来計画策定のために，CRC（宇宙線研究者会議）が母体となり，また ICRR と連携して，これまで毎年将来計画のシンポジウムを開催してきた．H30 年度は，日本学術会議による「マスタープラン 2020」策定に際し，CRC から日本学術会議天文学・宇宙物理学分科会に対して推薦する大型計画を選ぶために，情報収集及び議論と意見の集約を行うことを目的として 2 回開催した．第 1 回は，日本学術会議天文学・宇宙物理学分科会に対して LOI を提出した新しいプロジェクト 6 件について，計画の内容を紹介してもらい議論を行った．また，第 2 回は，大規模学術フロンティアや大型重点計画に採択済み計画についても 10 年にかかる計画については再度の提出が求められたことより，それらを含めた 8 計画について，第 1 回の宿題を含めて活発な意見交換を行った．これら 2 回にわたる議論に基づいて，最優先で押す現行計画 3 件，速やかな実現を望む新規計画 2 件，遅滞なく推進すべき現行計画 1 件を含む，計 8 件を天文学・宇宙物理学分科会に推薦した．これらのうち 2 件は，素粒子物理学・原子核物理学分科会に関わりが深いため，そちらにも推薦書を提出した．このように，本研究会は，情報の共有と計画内容の吟味，コミュニティの合意形成，等に非常に有益であり十分な成果をあげることができた．</p>
整理番号	J 02